



七北田川豪雨災害の取り組み (9月10日～)

9月10日は夜を徹して避難所、水害現場の見回りを行いました。翌日、七北川の氾濫による床上・床下浸水の被害、また農地への流木・土砂・ゴミ等の流れ込み等、甚大な被害状況が明らかになりました。仙台市関係部局へ現場への職員派遣依頼を実施。13日には遠山衆議院議員、伊藤県会議員と共に、被害地域を視察。その結果、河川の復旧は県議が、農地については国会議員が動き、農地についてはいち早く「激甚災害指定」を受ける事ができました。



公立保育所エアコン整備等の要望書提出

(8月15日)
市内の公立保育所では、エアコン整備が不十分なため夏場、エアコンの設置されている部屋の合同使用を強いられ、狭い部屋での接触事故の心配があります。これらを解消するための緊急要望書を提出しました。



議会改革を申し入れ (9月14日)

開かれた議会を一層の努力で推進し、多くの市民に信頼され理解・関心が高まるよう、議長に対し「議会改革に関する申し入れ」をしました。



いじめ防止対策に関する緊急要望提出

(9月14日)
公明党仙台市議団は、本市の市立中学に在籍していた1年生が、同級生らのいじめを苦に昨年自殺した痛ましい事件を踏まえ、その対策について緊急に要望書を奥山市長に提出しました。



八乙女駅周辺地域への市民利用施設整備に関する陳情

(9月2日)
地域の要望を町内会長と前市議会議員の登坂氏とで、守泉区長へ陳情しました。



向陽台中央公園 注意喚起看板設置

(9月4日)
地域の方から「小さな子供がボール遊びをした時に危険」との声が頂き、現場調査。道路に飛び出さない様、看板を設置し注意を促していく事で合意して設置致しました。



鶴ヶ丘4丁目の側溝詰まりを改善

地域要望を頂いた現場実施の第1号は「鶴ヶ丘4丁目側溝詰まり(8ヶ所)現場」です。地域の皆様の呼びかけに、現場確認して頂きました。無事、改善することが出来ました。

佐藤ゆきお 市議会通信 ①

SATO YUKIO SHIGIKAI TUSHIN 【泉区】IZUMI-KU

2015年12月発行

発行元 / 仙台市議会公明党市議団
仙台市議会議員 佐藤 幸雄
仙台市泉区南光台1-56-15-1
TEL022-272-4863
Email yukio-s@dion.ne.jp
HP <http://sato-yukio.jp/>

一人の声を市政につなぎます。

VOL.1



初心を忘れず みなさまの「声」を実現するため 全力で取り組んで参ります。

皆様のまごころのご支援により泉区で2議席目を賜ることが出来ました。改めて心より御礼申し上げます。

おかげさまで本年9月より新人議員として活動を開始致しました。地域の皆様からの「声」を実現する為、各担当部局の組織表を片手に要望の折衝に足を運ぶなど等、日々学びながら成長させて頂いております。

この度の「関東・東北豪雨災害」に際しましても、現場から様々な被害の「声」が続々と届く中、「先輩議員」のアドバイスを受つつ目の前の課題に全力で取り組まさせて頂きました。

今後、皆様の「声」によりお応えできる議員に一日も早く成長するため、何事にも全力で対応し、仙台を、さらに「安心・安全」な街づくりを推進して参る決意です。

仙台市議会議員 佐藤 幸雄



●プロフィール

昭和43年7月25日、仙台生まれ。
昭和62年 仙台商業高等学校卒業
(硬式野球部OB)
平成4年1月 新日軽株式会社入社
(現・株式会社 LIXIL)
平成27年4月25日 退社
平成27年8月2日 仙台市議初当選。
妻・娘と3人暮らし。
趣味:スポーツ観戦。
好きな言葉:努力

所属委員会 /

市民教育委員会、環境・エネルギー政策調査特別委員会、広報委員会

党役職 /

公明党宮城県本部青年局長、泉第2支部支部長

SATO YUKIO
SHIGIKAI TUSHIN
VOL.1

<http://sato-yukio.jp/>

佐藤ゆきお、初の一般質問。

平成27年度 第3回定例会 一般質問

平成27年10月1日



教育ローンの「利子補給制度」の周知・徹底を!

【佐藤幸雄議員】未来を担う子ども達の経済支援策について伺う。国の教育ローンを借りた方が利用できる、「修学資金借入支援制度」いわゆる「利子補給制度」が仙台市ではあまり活用されていないと伺っている。これまでの取り組み方と今後の推進策はどうなっているのか。

【教育長】この制度は、国の教育ローンを借りた方への利子補給制度となっており、仙台市では要件等により県の育英奨学資金を受けられない方を支援するため平成22年度から実施している。今年度からは、利用促進を図るため、国の教育ローンの基準まで所得基準を引き上げることにより、対象範囲を拡大するとともに、所得関係書類の提出を省略したところである。今後も、国の窓口となる日本政策金融公庫と連携し周知・広報を徹底するとともに、利用した方々からの声を検証し、必要に応じ見直しを行ってまいりたい。

子育てふれあいぷらざ「のびすく」の利用時間について

【佐藤幸雄議員】子育て支援について。「のびすく」は親子がたのしく伸び伸びと過ごせるスペースがあり、また理由を問わない一時預かりをしてもらえるというのが大変好評を得ている。しかしその一時預かりの利用時間が基本的に午後4時半までとなっており、パート等で働く方からの「夕方に利用したい」「せめて午後7時まで延長し時間の幅を広げてほしい」との声がある。ワーク・ライフ・バランスの高まりから多くの女性の声を反映すべきと思うがどうか。

【子供未来局長】「のびすく」での一時預かりに関して、利用者の一部から、時間延長のご意見があることは、承知をしている。一方、この事業は国の通知に基づき

親の育児疲れ等の軽減を図ることなどを目的に事業を実施しているものである。親が仕事をしている間の預かりについては、基本的の他の施設を利用頂くようご案内している。こうした事業趣旨から、一時預かりの時間拡充については慎重に判断すべきものと考えているが、その趣旨等について十分周知を図りながら、運営してまいりたい。

【佐藤幸雄議員】児童館の「日曜日開館」について。仙台大都市圏の日曜日に働く人の割合は、男性:34.9%、女性:34.2%、全体で34.4%となっており、3人に1人は日曜日に働いている。子どもを預ける児童館の日曜日運営が必要であると思うがどうか。

【子供未来局長】現在、本市の児童館・児童クラブは、平日は19時15分まで、土曜日は9時から17時までと、利用時間を拡大してきている。日曜日の実施については、一部にご要望もあるが、現在のところ、本市全体の利用ニーズを見定める必要があるとともに、指導員の確保等、実施にあたっての課題もあることから、他都市の動向等も十分に注視してまいりたい。

「持ち込みゴミ」処理手数料の改善について

【佐藤幸雄議員】現在、ゴミの持ち込み価格は、100kgまでで1,000円となっている。つまり例えば110kgだと2,000円になってしまうため、10kgを持ち帰る方が多くおり、その保管場所の確保等も必要で大変不便である。これを解消するため、ゴミ持ち込み10kg100円と、10kg刻みの価格設定にしているがどうか。

【環境局長】少量のゴミを持ち込まれる個人や中小事業者の方々にとって、100kgを超過した端数分の負担が大きいとの声は承知している。ご指摘の点も含め、持ち込みゴミの処理手数料のあり方について、今後検討してまいりたい。

再生可能エネルギーの更なる推進に関連して

【佐藤幸雄議員】災害に強い、安全・安心な街づくり、そして、地球温暖化対策の為に、東日本大震災を経験した仙台市ならではの更なる取り組みを推進すべきと思うがどうか。

【奥山市長】東日本大震災では、大規模・集中型のエネルギーシステムが抱える災害時の脆弱性などの課題が浮き彫りとなった。今後とも、災害に強くエネルギー効率の高い分散型エネルギーの創出や、環境負荷の少ない次世代エネルギーの先端的な研究開発を推進し、防災環境都市の構築に向け、力を尽くしてまいりたい。

【佐藤幸雄議員】「仙台スマートハウス補助金」は、太陽光+蓄電池+省エネ機器の3点セット導入が条件で、すでに本年5月21日に計38ヶ所分が終了済みと伺っている。好評につき申請期間を延長すべきと思うがどうか。

【まちづくり政策局長】当事業は県の「みやぎ環境交付金」を財源とするもので、今年度は既に予算枠の上限に達した事から年度内の募集再開は困難であるが、来年度に向け、対象機器の普及状況などを踏まえ、より有効な制度となるよう見直しを図りながら、事業継続に向けての財源確保について県と十分に協議してまいりたい。

【佐藤幸雄議員】太陽光パネル製品には有毒部質を使用している商品があるが、仙台市での使用の有無はどうか。

【まちづくり政策局長】避難所8施設で化合物系のパネルを使用している。これらのパネルには少量ながら金属セレンが含まれており、使用する際は問題がないが将来廃棄する際には、廃棄物処理法に準拠することはもとより、現在国において検討が進められている太陽光パネル廃棄物の処理・リサイクルに関するガイドラインなども踏まえながら適正に処理していく。

農機具・ビニールハウス等被害に対する独自支援について

【佐藤幸雄議員】9月に発生した豪雨において被害を受けた、農機具・ビニールハウス等に対し仙台市として独自支援を行うべきと思うがどうか。

【経済局長】今回の被害に対しては農業共済制度により、再取得や修繕などの費用の一部が補てんされることとなっている。本市としては、JA等と連携しながら、

被災農業者からの相談等にしっかりと対応することで、その役割を果たしてしていきたい。

決算等審査特別委員会 質疑

平成27年10月14日



市有施設の更なる「省エネ」実施

【佐藤幸雄議員】省エネは温室効果ガス排出抑制に留まらず、行政コストの縮減につながる。住民からお預かりした貴重な財源を有効に使っていく事は、地方自治体の責務でもある。市役所本庁舎をはじめ市有施設の整備等、各部署において様々な取り組みが進められているが、これをしっかりと連携させ、より一層の効果を生み出して欲しいと考えるがどうか。

【環境局長】現在、大震災の後の社会経済状況の変化やエネルギー政策をめぐる動向等を踏まえ、本市の地球温暖化対策推進計画の改定作業を今行っているところである。

そういった意味で、委員ご指摘の通り何よりもまず仙台市が頑張らないといけないと思っている。今後、各関係局とも綿密な連携をとり、行政コストの縮減といった観点も含め、市有施設の改修や改築、更新等に合わせ効果的な対策を講ずるなど率先した取り組みを進めていく。

広域的な取り組みで不法投棄の撲滅

【佐藤幸雄議員】不法投棄をさせない取り組みを推進し、広域的に連携を取り、不法投棄撲滅を目指し活動すべきと思うがどうか。

【環境局長】不法投棄につきましては、悪質巧妙化しており、近隣自治体と連携して取り組むということが重要と考える。平成18年に設置した南東北産業廃棄物不法投棄等担当者会議を活用し、合同パトロールを強化し、広域的な監視体制を更に推進してまいりたい。